



Alarm Acc(アラーム・エーシーシー) 取扱説明書 Ver1.06

使用する状況と目的

Alarm Acc(アラーム・エーシーシー)とは

Alarm Acc(アラーム・エーシーシー)は『夜更かしを愛する人たちのタイマーアラーム TimerA』と組み合わせて使用する補助ツールです。

TimerA(Ver1.39以降)はLANで接続されたコンピュータ(隣接コンピュータ)へイベント信号(アラーム信号)を送る機能を持っています。Alarm Accはその信号を受信するソフトです。これによりTimerAのサウンド、メッセージ、プログラム起動を隣接コンピュータで実現することができます。

Alarm Accの名称はAlarm Acceptorからきています。

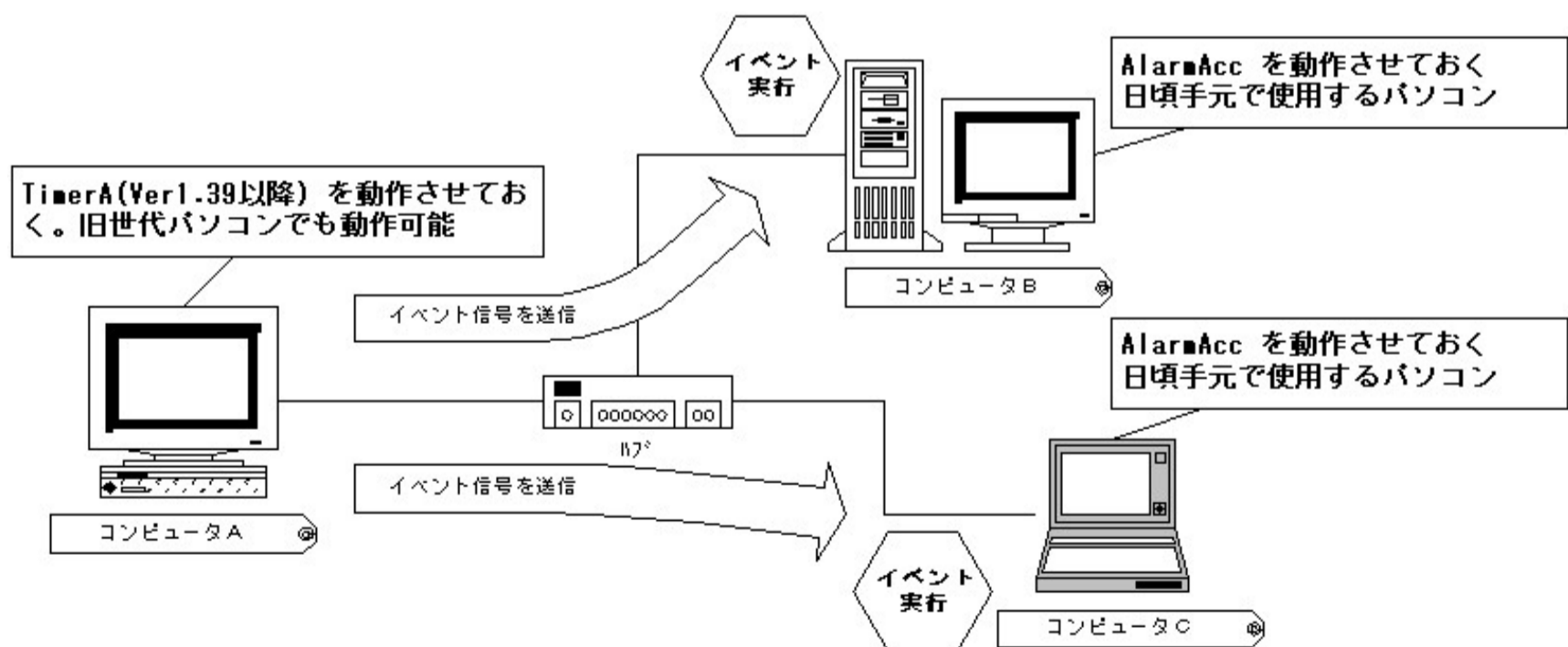
旧世代パソコンの有効活用

旧世代のパソコンを破棄せずにLANで接続して使用している人向けです。TimerAを旧世代のパソコンで動作させます。LANで接続された日頃手元で使用している今様のパソコンでAlarm Accを動作させておきますと、TimerAのアラーム信号を手元のAlarm Accで受信してサウンドとメッセージを手元のコンピュータで確認することができます。TimerAは高機能を優先にして作成されたタイマー・アラームソフトで、動作にはリソース(メモリーなど)を多く使用します。それに比べAlarm Accは単純な機能です。手元のパソコンで常駐させていても負担は少ないと思われます。これでTimerAの負担を他のパソコンにまかせ、手元のパソコンのAlarm Accでその機能だけを受けこを実現します。

Alarm Accの機能概略

TimerAのイベント信号受信

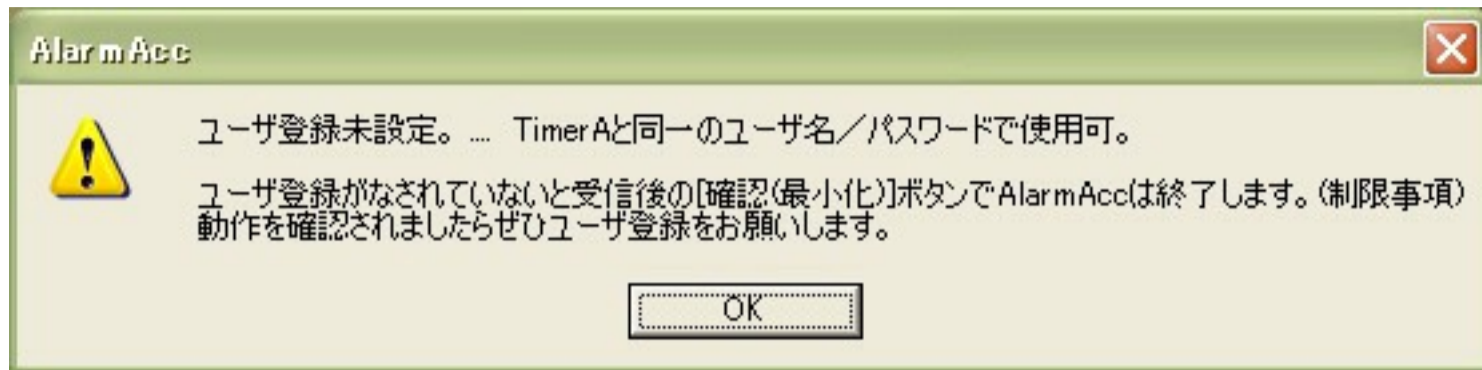
TimerAは自身でイベントを実行することができますがVer1.39より発生したイベントをあらかじめ指定した隣接パソコンへも送信する機能が追加されました。この機能とAlarm Accを使用すると別のパソコンで動作させているTimerAのイベント信号(アラーム信号)を受け取り、手元のパソコンでイベントを実行できるようになります。イベントにはメッセージの表示とサウンド(WAV/MID)の再生が基本ですが、動作ファイルの指定を変えることによりプログラムの起動、ドキュメントファイルのオープンも可能です。



Webページの場合図中をクリックすると原寸図を表示できます。

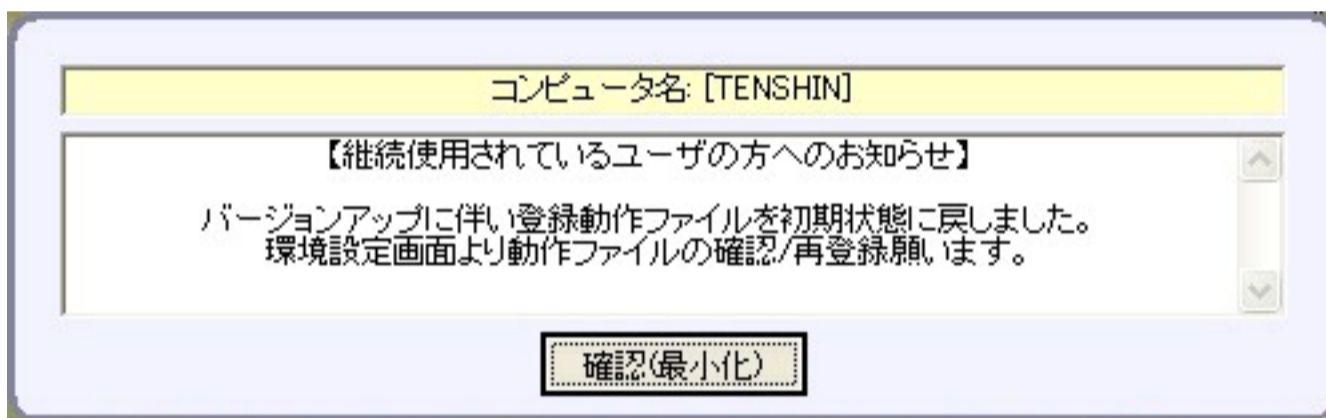
Alarm Acc の起動と画面

ユーザ登録未設定ダイアログ



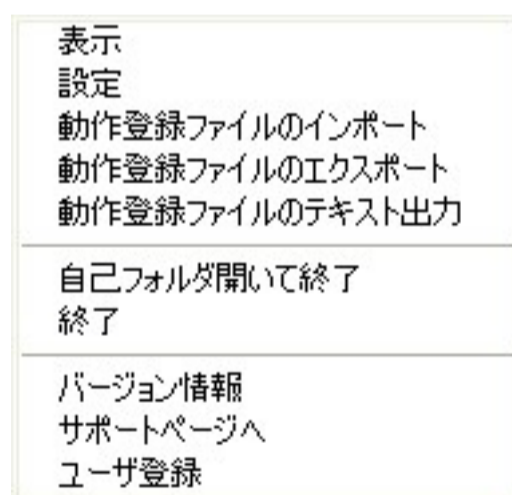
ユーザ登録がなされていないとき、Alarm Accを起動すると、上のような制限事項がある旨のダイアログが表示されます。ユーザ登録が完了しますとこのダイアログは表示されなくなります。「ユーザ登録未設定ダイアログ」をOKで抜けると本体画面が表示されます。

本体画面と通知領域(タスクトレイ)からのメニュー



表示されているコンピュータ名はユーザにより異なります

上図の本体画面はTimerAからのメッセージ表示画面になります。[確認(最小化)]ボタンをクリックすると本体画面はデスクトップから消えますがプログラムが終了するわけではありません。Alarm Accは常駐プログラムです。常駐されるとデスクトップの右下にある通知領域(タスクトレイ)にAlarm Accのアイコンが追加されます。



本体画面のボディー部分か通知領域(タスクトレイ)にあるAlarm Accのアイコンを右クリックすると上図のようなメニューが表示されます。Alarm Accの終了はここから[終了]をクリックすることにより常駐が解除され終了します。通知領域(タスクトレイ)のAlarm Accのアイコンが消えることでプログラムが終了したことを確認できます。

ユーザ未登録の場合の[確認(最小化)]ボタンの動作

TimerAからの信号を受信すると自動的に元の画面の本体画面がデスクトップに表れますが、この画面で[確認(最小

化)ボタンをクリックするとプログラムは終了します。要はAlarm Acc 1回の起動で1回の受信しか出来ないようになっています。

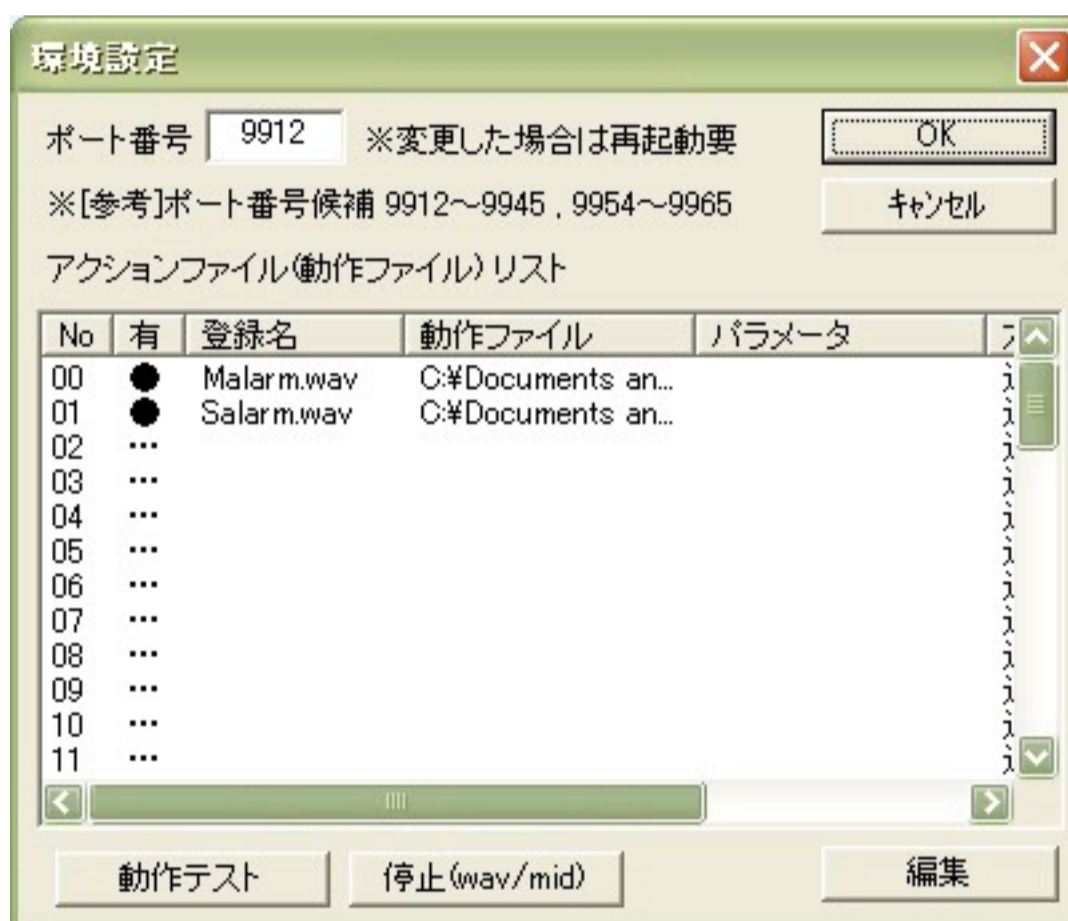
メニューの詳細

Alarm Acc は常駐プログラムです。常駐されるとデスクトップの右下にある通知領域(タスクトレイ)にAlarm Acc のアイコンが追加されます。そのアイコンを右クリックするとメニューが表示されます。

表示

本体画面(メッセージ画面)をデスクトップへ表示します。最小化から通常の「元の画面」に戻るの意味です。TimerA からの最後のメッセージを確認することができます。

設定



上図のような環境設定のダイアログ画面を表示します。

・ ポート番号

TimerA からのイベント信号を受け取る通路番号です。この番号はTimerA での設定と同一番号である必要があります。またネットワークを使用するほかのソフトなどと重複してはなりません。デフォルトでは「888(Ver1.05で9912に変更)」になっていますがこの番号でもし不都合があれば変更します。このときTimerA での設定も同じように変更する必要があります。通常はそのままの番号で支障ないはずですが。

・ アクションファイルリスト (表示しているパス名はユーザにより異なります)

アクション番号(0~49)に対応するアクションファイルを登録しておくものです。TimerA からはAlarm Acc での動作すべきアクションの種類を0~49の数字で知らせてきます。その数字に対応する音源ファイルを登録します。音源はWAV/MIDのみです。音源だけではなくプログラム(EXE)、各種のドキュメントファイルを直接指定することも可能です。その場合はWindowsに設定されている標準ソフトが動作しドキュメントファイルを開きます。従ってMP3などの音楽ファイルの指定も可能です。

・ 動作テスト

登録されている動作ファイルを起動します。WAV/MIDは内蔵プレイヤーを使って再生します。MP3などの未サポートファイルはWindowsで関連付けされたソフトが起動されます。

- ・ 停止

内臓プレイヤーを使って再生しているときの停止ボタンです。

- ・ 編集

0～49の登録欄を選択して編集ボタンをクリックすると動作ファイル(アクションファイル)の登録編集画面が開きます。この画面で新規の登録と既存の変更を行います。

動作ファイル登録編集

登録番号(Level No) 1

設定の有効(●)/無効(○) ●

登録名 Salarm.wav 画面サイズ 通常

動作ファイルパス名
E:\ProcData\AlarmAcc\Salarm.wav

パラメータ

動作テスト 停止(wav/mid)

OK キャンセル ファイル参照 ファイル参照

- ・ 参照

登録ファイルを画面上で選択できます。

動作テスト、停止ボタンは環境設定画面と同様の働きです。

動作ファイルリストのインポートとエクスポート

Alarm Accの登録されている音源ファイルや実行ファイルを総称して動作ファイル(アクションファイル)といています。動作ファイルはアクション番号(登録番号)0～49に対応して50種が登録できます。このリストを動作ファイルリストといい、それらはAlarm Acc.acdというファイルに収められています。Alarm Acc.acdは動作ファイルリストの登録ファイルということです。エクスポートは実質的にAlarm Acc.acdを別名で保存することと同意です。インポートは外部に保存したファイルを再読み込みすることです。

【ちょっと一言】

拡張子acdはAction Do!の意味で、勝手に決めました。

動作ファイルリストのテキスト出力

動作登録ファイルをタブ形式のテキストファイルに変換します。メモ帳などのエディタで開くこともできますが、Excelなどの表計算ソフトがあれば表として閲覧が可能になります。プリントすることも容易に行えると思います。

Alarm Accの動作ファイルリストの内容はTimerAでのアラーム設定操作で必要になり、通常TimerAとAlarm Accが動作しているパソコンは別のはずなのでプリントアウトするかファイルとしてTimerAのパソコンにないと不都合であるための機能です。

【ちょっと一言】

「タブ形式のテキストファイル」をExcelで取り込むには一般的にはExcelを起動して「ファイル」-「開く」でファイルの種類をテキストファイルに切り替える・・・と行うわけですが、「タブ形式のテキストファイル」のアイコンを直接、起動したExcelの一番上にあるタイトルバーにドラッグ&ドロップすると簡単に取り込めます。

自己フォルダを開いて終了

Alarm Accがセットアップされているフォルダをエクスプローラ(マイコンピュータ)で開いて、Alarm Accを終了します。

Alarm Accのバージョンアップや環境ファイル、ユーザ登録ファイルをコピー、削除などを行うとき便利です。

終了

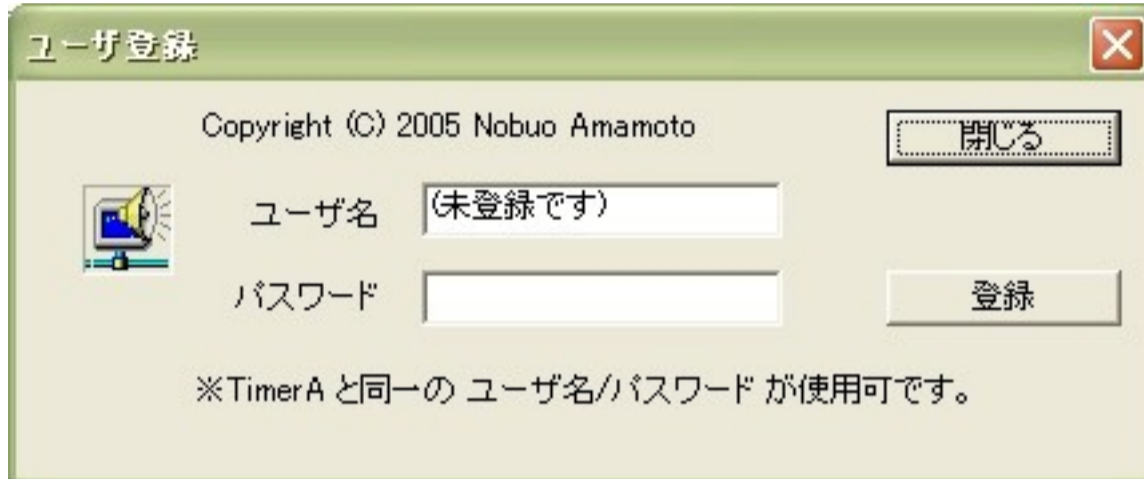
Alarm Acc を終了させ、常駐を解除します。

バージョン情報

バージョン情報の確認ダイアログを表示します。

ユーザ登録

Alarm Acc はシェアウェアでユーザ登録が必要です。ユーザ登録がなされていない場合は制限事項があります。ただし、機能上 Alarm Acc は TimerA の補助ツールという位置にあるため、TimerA と同一の ユーザ名とパスワードを使用可能としています。



1. ユーザ名欄の「(未登録です)」を消して、作成者から送付された「ユーザ名」と「パスワード」を打ち込み、「登録ボタン」をクリック。
2. ユーザ名かパスワードに入力ミスがありますとその旨のエラー表示がされます。エラーがなければ「閉じる」ボタンで登録画面を抜けます。
3. 以後は起動時の未登録警告ダイアログ表示もなくなり、「未登録制限事項」は解除されます。